

令和4年1月27日
14:00~15:30

長岡京市民大学 第38講座
「合気道～その歴史と理念～」

あめの たけむす
天之武産合気塾道場
(合気道向日町教室 代表)
竹田 ^{あきひろ} 明敬

1. 合気道とは？
2. 植芝盛平翁先生
3. 歴代道主
4. 翁先生の高弟
5. 阿部醒石先生

6. 合気道と私

7. 合気道の理念

8. 合気道向日町教室

9. これから

[配布資料]

- 資料 1 合気道の技法体系
- 資料 2 植芝盛平翁先生ご略歴
- 資料 3 阿部醒石先生ご略歴
- 資料 4 阿部醒石先生相関図
- 資料 5 古事記の神々と合気道技法体系
- 資料 6 翁先生道歌(抜粋)

※ 天之武産合気塾道場：

ホームページ、facebook、Twitter あります

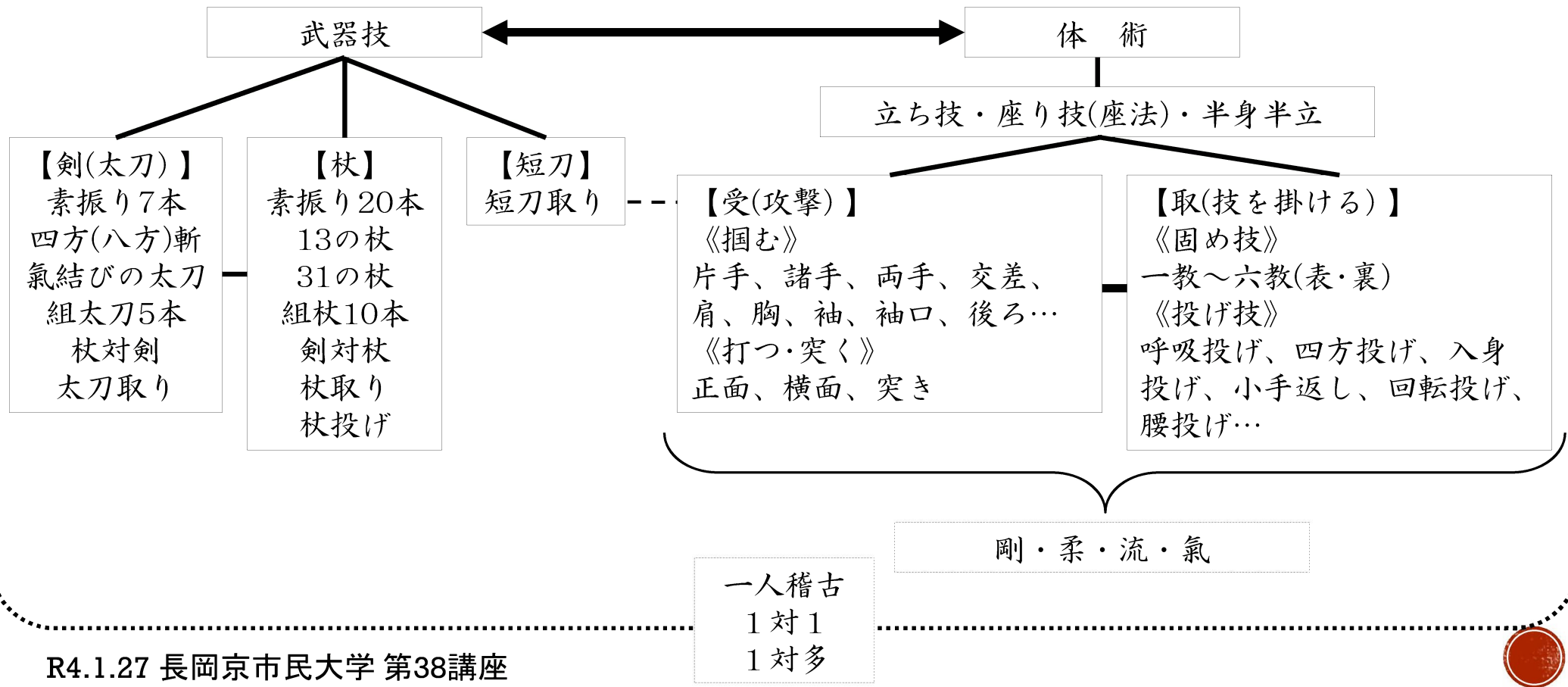
※ 合気道向日町教室：

ホームページ、facebook、Twitter、Instagram あります

※ 連絡先：aikidomukomachi@gmail.com



合氣道の技法体系



植芝盛平翁先生 ご略歴

明治16(1883)年	12月14日、現在の和歌山県田辺市に生まれる。
明治41(1908)年	後藤派柳生流柔術の免許皆伝。
明治45(1912)年	北海道で大東流合気柔術の武田惣角師に会い教えを受ける。
大正8(1919)年	京都綾部町で大本教の出口王仁三郎師に会う。
大正9(1920)年	綾部に移住し、修行道場「植芝塾」を開設。
大正末ごろ	武道の新境地を開く。本格的に「合気之道」と呼称する。
昭和2(1927)年	上京、海軍大学校はじめ各所で指導する。
昭和6(1931)年	現在の新宿区若松町に合気道専門道場「皇武館」を建設。
昭和16(1941)年	茨城県岩間町に野外道場を設置、心技さらに一段と飛躍。
昭和30(1955)年	国内はもとより海外においても合気道の普及発展に尽力。
昭和35(1960)年	合気道創始の功績を以って紫綬褒章を賜わる。
昭和39(1964)年	勲四等旭日小綬章を受賞。
昭和41(1966)年	ブラジルの総大司教より最高名誉称号「伯爵」位を贈られる。
昭和44(1969)年	4月26日昇神(86才)、勲三等瑞宝章を賜わる。正五位叙位。



阿部醒石先生 ご略歴

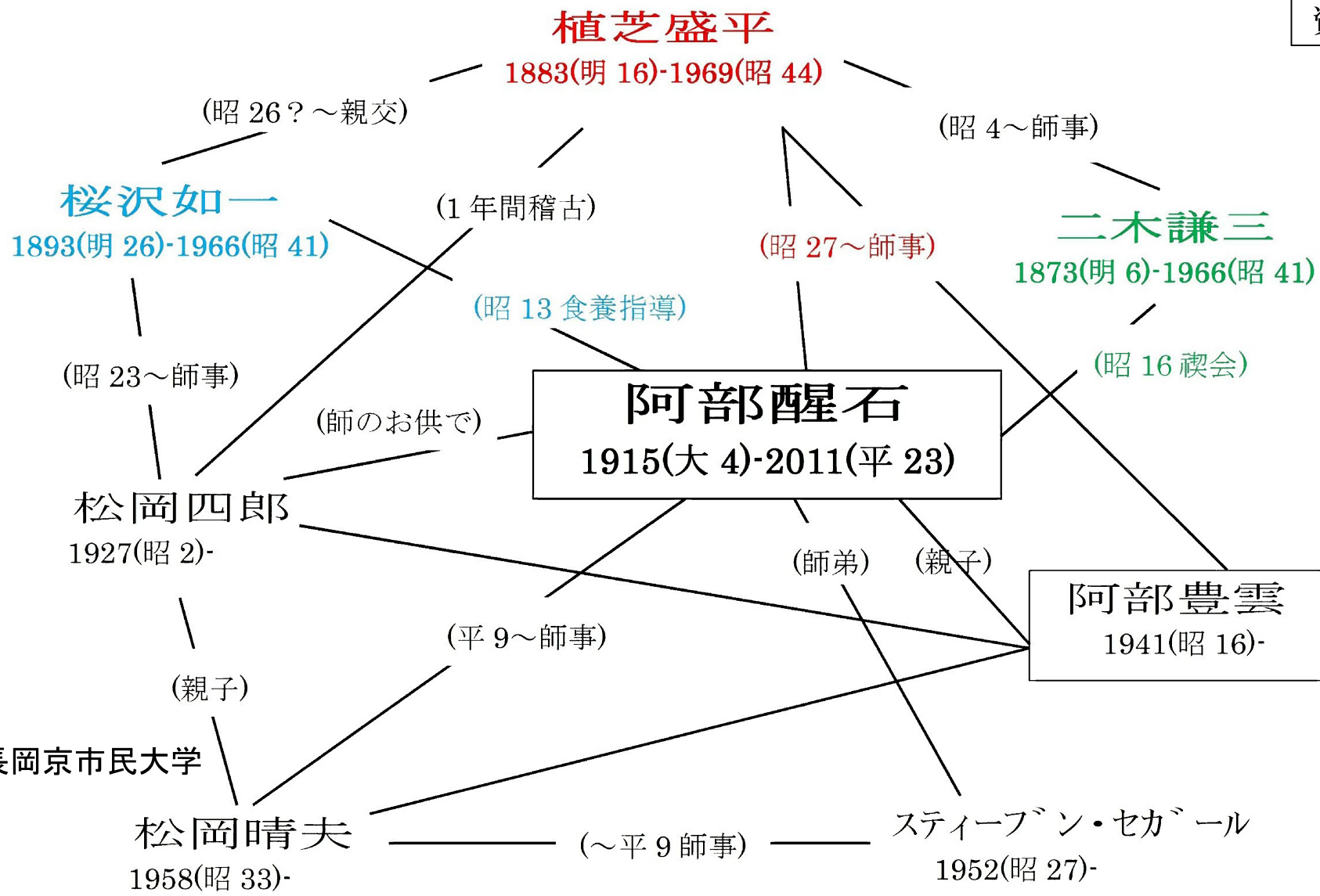
大正4(1915)年
 昭和9(1934)年
 昭和16(1941)年
 昭和23(1948)年
 昭和27(1952)年
 昭和29(1954)年

 昭和31(1956)年
 昭和37(1962)年

 昭和43(1968)年
 昭和44(1969)年
 平成2(1990)年
 平成6(1994)年
 平成23(2011)年

3月26日、大阪府高槻市に生まれる。本名、俊一。
 吹田市立第一小学校勤務。
 襖之宮で二木謙三主宰「襖の鍛練会」に参加。
 北野高校勤務(～1982年)。書道担当。
 吹田市で植芝盛平翁先生に出会う。
 引土道雄師範の熊野塾道場開設。
 翁先生が毎月7～10日間ご滞在(～1969年)。
 日展入選。
 北野高校合氣道部設立。
 自宅に天之武産合氣塾道場開設。
 合氣道九段。
 合氣道十段。(4月26日翁先生昇神)
 日本武道協議会より武道功労賞が贈られる。
 紺綬褒章受章。
 5月18日昇神(96才)。





R4.1.27 長岡京市民大学
第38講座



資料 5

古事記の神々と合気道技法体系

一、あめのみ中ぬしのかみ	二、たかみ結のかみ	三、かみ (む) 〃	四、うまし葺かびひこぢのかみ	五、あめのとこ立のかみ	六、くにの常立のかみ	七、とよくもぬ	八、いざなぎのかみ なみ	九、あめのおしほみみのみこと	十、たけみかづちのかみ
・	— 〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
点・周	たて 直・波・螺	よこ	左右螺	永遠、常住不変 天地・父子	ほのさわげ		あめのとりふね(6) 雄 あめのうきはし あめのぬぼこ みそぎ = 船下 鳥上 振魂	勝速日 正勝・吾勝	剛・脱力 もろ手 取成立氷・剣刃
初・終	上下	前後	左右	螺			雄叫	勝速	点集

R4.1.27 長岡京市民
大学 第38講座



道歌

- ◆ 敵多勢 我を囲みて 攻むるとも 一人の敵と 思いたたかへ
- ◆ まが敵に 切りつけさせて 吾が姿 後に立ちて 敵を切るべし
- ◆ 合気にて よろづ力を 働かし 美しき世と 安く和すべし
- ◆ 誠をば 更に誠に練りあげて 顕幽一如の 真蹄を知れ
- ◆ 神ながら 合気のおぎを 極むれば 如何なる敵も 襲うすべなし
- ◆ 又しても 行詰るたびに 思ふかな いづとみづとの 有難き道
- ◆ 右手をば 陽にあらはし 左手は 陰にかへして 敵をみちびけ

- ◆ 天地に 氣結びなして 中に立ち 心構えは 山彦の道
- ◆ 三千世界 一度に開く 梅の花 二度の岩戸は 開かれにけり
- ◆ 武産は 御親の火水に 合気して その営は 岐美の神業
- ◆ 大宇宙 合気の道は もろ人の 光となりて 世をば開かん
- ◆ つるぎ技 筆や口には つくされず 言ふれせず 悟り行へ
- ◆ 合気とは 愛の力の 本にして 愛は益々 栄えゆくべし
- ◆ キの仕組 赤白たまや ますみたま 合気のみちは 小戸之神技

